児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

（別添様式2）

公表日：　令和　6　年　1　月　24　日　　事業所名：高砂児童学園　　サービス種類：児童発達支援

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	設置基準を満たし、利用定員に応じたスペースが確保できている。	・子どもが取りやすい位置に道具を置いてくださり、危険な物もなく、生活空間はとても良いと思う。	引き続き安全面での配慮を十分に行い、環境構成を工夫していきます。
	2	職員の適切な配置	基準に応じた保育士の配置及び、理学療法士及び、作業療法士、言語聴覚士などの専門職の配置も行い療育を行っている。	・今年度より作業療法士・言語聴覚士が新しく配属されてうれしい。 ・専門職の方の訓練を月に1回してほしい。	適切な支援が行えるよう、引き続き適切な職員配置をしていきます。現在、専門職の指導は、各月2回実施しているので、引き続き行っていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	建物が古く、ハード面でのバリアフリー化はできていないが、現状の中でソフト面において工夫・整備している。	・一日の流れを黒板に貼っているのがよい。家でも、同じように予定を考えて整理している。 ・建物が古いので、いたるところに段差が見られる。	今後も安全で快適に園児が過ごせるように、環境整備を行っていきます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	子ども達が安心して過ごせるように、毎日部屋の清掃・消毒を行うとともに、感染症対策も行っている。	・夏には、園庭に日陰をつくって、熱中症対策をしてもらい安心できた。 ・いつも清潔で子どもが伸び伸びと過ごせる場所です。建物が新しくなるとさらによい。 ・掃除、手入れは良くされているが、建物を新しくしてほしい。 ・プールに屋根を作ってほしい。 ・自然が多いので仕方がないが、虫刺されが気になる。 ・トイレが古い。	夏の遊びに関しては、熱中症などの対策を実施し、、安全に子ども達が楽しんで過ごすことができるようにしていきます。 また、建物が古い施設になるが、清潔に保ちながら、明るい環境で過ごすことができるようにしていきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	自己評価を行い、資質向上を行っている。		今後もそれぞれに応じた目標設定を行い、業務改善を進める為、全職員で考えていくようにします。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	年度末に、第三者委員に学園運営及び虐待委員会の報告などを行う予定にしている。		今後も学園運営について、検討していきます。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的な園内研修や外部研修の参加を行い、それに合わせて研修報告を行いながら職員の資質向上を図っている。		今後も積極的に研修を計画・参加し、職員の資質向上を図っていきます。
適切	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に保護者と面談を行い、園や家庭の様子を把握しながら課題を分析し、個々に合わせて支援計画を作成している。	・いつもたくさん様子を教えてもらったり、話を聞いていただき助かる。	今後もアセスメントを行い、園児や保護者のニーズを確認しながら、一人一人の子どもにとって必要な支援を考え、個々に合った計画を作成していきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの園児の課題に合わせた個別の遊びとクラスや全体の活動を組み合わせた支援計画を作成している。	・落ち着きが出てきて、子どもの成長をとても感じる。	今後もクラスの活動だけでなく、発達段階や子どもの特性に考慮したうえで、グループ活動や行事を取り入れていきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	基本的な生活習慣、社会性、家族支援など、園児の支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を記載している。	・子どものことを一番に考えた計画をしていただいてうれしく思う。	今後も園児の支援に必要な項目の設定および具体的な支援内容を記載します。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の支援計画に沿って、スモールステップになるように毎月の目標設定を行い、適切な支援を行っている。	・こちらが伝えたこと以上に子どもの性格や特性を理解してうまく生活できるようにしてくれている。	今後も支援計画に沿った適切な支援の仕方を工夫し、実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月の職員会議やカリキュラムなどで、行事や活動について話し合いを行い、園児が楽しめる活動を考えている。今年は、保護者も参加し、餅つきや縁日会などを楽しむこともできた。		今後も、園児が楽しんで取り組めるような活動や行事、遊びを職員間で話し合い、園全体で取り組んでいきます。保護者への発信や報告も行います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇中も、相談に応じることができることを伝えている。		引き続き、相談体制を整え、安心して相談できるようにしていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節に応じた活動を取り入れたり、子ども達の様子を見ながら活動プログラムを考え、固定化しないようにしている。また新型コロナウイルスが5類になったことで、昨年度とは異なった活動を行うこともできた。	・工作や運動など、いろいろな経験ができるように工夫してもらっている。 ・たくさんの行事等行えてよいと思う。	今後も園児の様子や天候に合わせて、活動プログラムの工夫をし、実施していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝、職員朝会を行い、全職員でその日の支援内容や役割分担についての確認を徹底している。		今後も朝会時に職員全員で確認を行い、共通理解をしていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員間でその日の園児の様子や支援について情報交換を行いながら、共通理解できるようにしている。		今後も、子どもの様子や特性を全職員で把握し、活動内容の見直しなども行いながら情報共有していきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	その日の園児の様子や支援について、個々に記録を残し、必ず振り返りを行いながら職員で共有したり、次の支援につなげるようにしている。		今後も、支援内容や園児の記録を正確に記録し、支援の検証・改善を継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行い、支援状況の確認・見直しを行い、家庭との情報共有も行っている。		今後も定期的にモニタリングを行うことで、現状把握をし、支援体制についての確認を行い、支援計画の見直しを行っていきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	保護者、担任、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員など、関係機関が集まった担当者会議を行い、支援に対しての共通理解を図っている。		今後も関係機関が集まった担当者会議を行い、より良い支援が行えるようにしていきます。
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	卒園児が進路先へ円滑に移行できるように、保護者に了解を得たうえで、卒園前や卒園後の入園・入学後にフォローを行い、新しい環境へ移行しやすいように情報共有を行っている。		引き続き、少しでも安心して新しい環境に移行できるように、進路先と支援内容などについて情報共有していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修の案内を全職員に周知し、受講を促進している。		今後も専門機関との連携や、研修の受講の促進を行っていきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度より、地域のこども園や保育園・幼稚園などとの交流保育を再開し、各園の活動に参加しながら交流を楽しむことができている。	・他の園で遊ぶことが楽しいようで、良い刺激になっている。 ・コロナが緩和され、交流保育が増えたことは子どもに良い経験だと思う。 ・今年から再開し、うれしい。	今後も地域の園と交流する機会をもち、子ども達と様々な経験を積んでいきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	以前に比べると規模は少し縮小しているが、交流する機会を今年度より再開している。		引き続き交流できる機会を検討していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者に対し、支援の内容や利用者負担等について、重要事項説明書や関係書類などを示しながら丁寧に説明を行っている。		今後も丁寧に説明を行っていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画作成会議で、支援内容について丁寧に説明を行い、保護者や相談支援専門員等に同意を得ている。		今後も支援計画を基に、保護者の方と支援内容について丁寧に説明を行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングについて、書面を用意し保護者に説明を行い、参加希望者には、9月より全5回のプログラムで実施している。	・兄弟の育児で参加できなかったが、次に機会があれば参加したい。 ・兄弟の事もあり、参加できず残念でした。	引き続きペアレントトレーニングを続けていき、参加が難しい方には、ペアレント以外の方法で療育支援について伝えていけるようにしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者とは、毎日の連絡ノートで園での様子を詳しく伝えている。また、必要に応じて電話や面談などでも直接伝えている。	・行事の時の子どもの様子を教えてもらっている。	引き続き保護者と園児の発達の状況や課題について、共通理解できるようにしていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	いつでも相談に応じることができるように体制を整え、必要があれば心理士による面談を設けることができるようにしている。	・専門職の先生の指導内容も直接聞くことができ、自宅でも取り入れたりし、相談しやすい。	今後も相談しやすい体制を整え、必要な助言などを行っていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	月に1回程度保護者会を開催したり、保護者も参加できる行事を行いながら、保護者同士が交流できる機会をもつことができている。	・保護者同士で連絡していないが、園で分からないことをうかがえることができている。	引き続き保護者も参加できる行事などを考えていきながら実施していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付の窓口を設け、苦情に対する体制を整え、保護者にも契約時にその旨を周知している。苦情があれば、迅速に対応できるようにしている。	・体制は整っていると思うが、実際の苦情対応されているところを見ていないので判断できない。 ・先生方の対応や連絡は、いつも早くてとても丁寧です。 ・苦情がなく、対応も見たことがない。	今後も苦情に対する対応・体制整備を行い、苦情があった時には、迅速かつ適切な対応をしていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードや身振りなど、個々に合わせた方法で園児と意思疎通を行っている。保護者とは、連絡ノートや電話・面談を通して丁寧に伝えている。		今後も個々に合わせて丁寧に対応していきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	園だよりや各種案内、あしあとつうしん（日々の子ども達の様子が分かる写真付きの便り）を発行し、保護者に子ども達の様子などを伝えている。	・保護者に『あしあとつうしん」の便りを出す回数が増え、楽しみが増えた。 ・2～3か月先の予定も教えてもらうので助かる。 ・『あしあとつうしん」を楽しみにしている。 ・ホームページは見たことがない。 ・ホームページは、更新がされていない印象です。	今後も、便りを発行していきます。また、ホームページに関しては、定期的に更新するようにし、情報発信を行っていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いについては、十分気をつけるように職員に周知徹底を行っている。保護者には、SNSなどへの配信の禁止も伝え同意書をとっている。		今後も個人情報の取り扱いについて、周知徹底を行っていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し、見直しや研修、訓練などを行い周知徹底している。		引き続き訓練後の話し合いの場を設けながら、マニュアルの見直しを行い、周知徹底をしていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月、火事や災害などを想定した避難訓練、不審者対応や熱中症などの緊急時対応訓練を実施している。年に2回、消防総合訓練として、消防署と連携した消火訓練も行っている。また、今年度は保護者も訓練に参加する機会をもち、防災ウィークを開催しとりくんだ。		今後も定期的に訓練を実施し、その都度振り返り反省を行いながら見直しを行っていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置し、自己チェックを定期的に行ったり、研修を行いながら虐待防止に対する意識を徹底している。また、職員研修などを行うことで、自己の振り返りを行うことができている。		今後も虐待防止の研修に参加し、職員間で情報共有しながら周知徹底を行い、適切な対応についても認識していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	椅子に座る際に安全ベルトを装着するなどの身体拘束を行う場合には、保護者に十分な説明を行い、了承を得たうえで支援計画にも記載している。また身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束についての会議も行いながら振り返り、職員に周知徹底を行っている。		今後も身体拘束が必要な時は、保護者と十分話し合い、定期的に見直しを行っていきながら職員間で共通理解していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがある子どもは、医師の指示書に基づき、管理者・保護者・調理師・担任で情報共有を行い、配膳時には誤配がないように担任と調理師で再度確認をしながら配膳している。		今後も保護者との情報共有を行いながら、医師の指示書に従い、アレルギー対応を徹底していきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットを含む事故が発生した時には、管理者に報告し、書類の作成を行っている。また毎日の朝会で、事故についての情報を共有し、再発防止に努めている。		今後もヒヤリハットを含む事故発生時の報告を行い、職員間での情報共有を徹底し、環境整備を行ったり、支援方法を工夫したりして再発防止に努めます。